



青森県感染症発生情報 (2017年第30週)

I 第30週の発生動向 (2017/7/24~2017/7/30)

- 手足口病については、むつ保健所管内で**警報**が発令されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。三戸地方+八戸市保健所管内では、定点当たり報告数の増加が続いており、警報レベルの開始基準値(定点当たり5人)に近づいています。県全体の定点当たり報告数が6週連続で増加が続き、過去5年間の平均を上回っていますので、今後の発生動向に注意が必要です。
- RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均と比較して、かなり多い状態が続いており、特に三戸地方+八戸市保健所管内、むつ保健所管内で定点当たり報告数が多い状態です。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
- ヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が6週連続で増加が続いていますので、今後の発生動向に注意が必要です。
- 流行性耳下腺炎については、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内で定点当たり報告数が増加していますので、注意が必要です。

II 第30週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増 減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科																
インフルエンザ															-2	
小児科	RSウイルス感染症	5	0.63	6	0.67	12	1.20					6	1.50	29	0.69	5
	咽頭結膜熱	1	0.13	2	0.22	1	0.10							4	0.10	-4
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3	0.38	6	0.67	9	0.90	6	1.20					24	0.57	-10
	感染性胃腸炎	27	3.38	4	0.44	17	1.70	32	6.40	28	4.67	14	3.50	122	2.90	-15
	水痘	3	0.38	1	0.11	1	0.10							5	0.12	-1
	手足口病	57	7.13	88	9.78	47	4.70	14	2.80	43	7.17	23	5.75	272	6.48	83
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	5	0.63	4	0.44	8	0.80	3	0.60	1	0.17	4	1.00	25	0.60	1
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	22	2.75	13	1.44	4	0.40	11	2.20	6	1.00	5	1.25	61	1.45	11
流行性耳下腺炎			1	0.11	22	2.20	1	0.20	9	1.50	1	0.25	34	0.81	15	
眼科																
急性出血性結膜炎	1	0.50											1	0.09	1	
流行性角結膜炎							1	1.00					1	0.09	1	
基幹																
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎															0	
マイコプラズマ肺炎					1	1.00					1	1.00	2	0.33	-2	
無菌性髄膜炎															0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1	

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

手足口病 (五類定点把握対象疾患) 第2回

手足口病は、ウイルスの感染によって口の中や手足などに水疱性の発疹が出る感染症で、子どもを中心に、主に夏に流行します。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常ありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

例年、報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めていますので、乳幼児が集団生活している保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

青森県では、第25週以降6週連続で県全体の定点当たり報告数が増加し、第28週以降は過去5年間の平均を上回っています。第29週には、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内及び上十三保健所管内で、第30週にはむつ保健所管内で、警報が発令されましたので、今後の発生動向に十分注意が必要です。なお、大きな流行となった2015年と比較すると、2017年は短期間で定点当たり報告数が増加し、第30週には2015年の定点当たり報告数を上回っています(図)。

予防策としては、日ごろから石けんでよく手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。特にむつを交換する時には、排せつ物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [手足口病に関するQ&A\(厚生労働省HP\)](#)

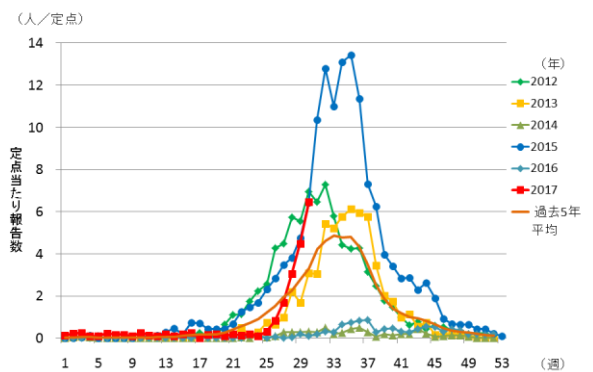


図 青森県の手足口病報告状況 (2014-2017年30週まで)



III 全数把握疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前3人、八戸市1人（2017年計：174人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：三戸地方3人、八戸市1人、上十三2人（2017年計：16人）

IV 病原体検出情報

報告はありませんでした。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第27週～2017年第30週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	H29.7.3 ~ H29.7.9	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人				つつが虫病1人 梅毒1人	
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	腸管出血性大腸菌感染症1人 アメーバ赤痢1人	梅毒1人	梅毒1人		梅毒1人	
29	H29.7.17 ~ H29.7.23		腸管出血性大腸菌感染症1人 水痘(入院例)1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H29.7.24 ~ H29.7.30			腸管出血性大腸菌感染症4人		腸管出血性大腸菌感染症2人	

VI 結核(二類全数把握疾患)（2017年第27週～2017年第30週）

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	H29.7.3 ~ H29.7.9	1	2		3	2	
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	2	1	1		1	
29	H29.7.17 ~ H29.7.23	3	2			1	
30	H29.7.24 ~ H29.7.30	1	3	1			

Ⅶ 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第29週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	12278	4	85	1024	22	8	191	173	19	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ボツリヌス症
累積報告数	2	1	51	1	2	100	105	118	1	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	24	9	1	817	7	609	162	836	404	7

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	108	325	763	37	224	16	2095	177	2990	77

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	58	52	52	168	12

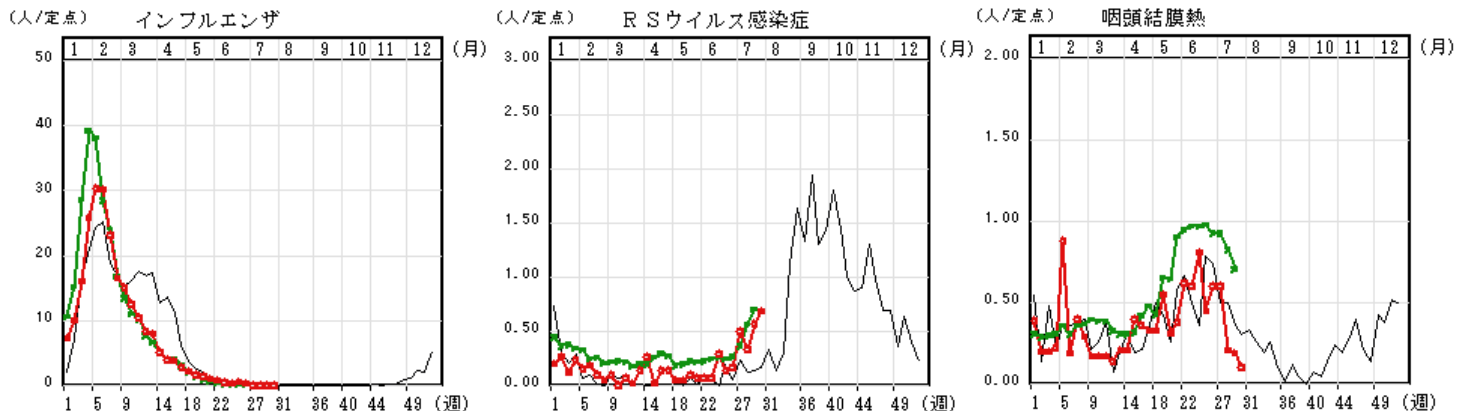
青森県（2017年第30週までの累計）

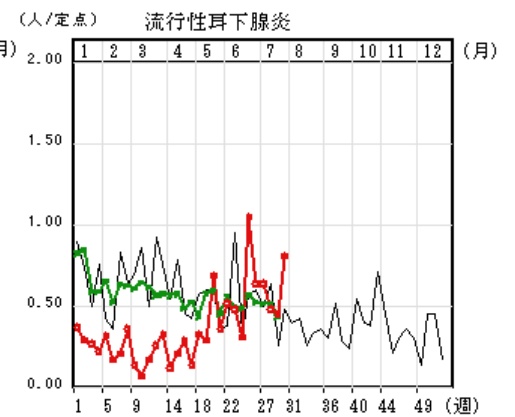
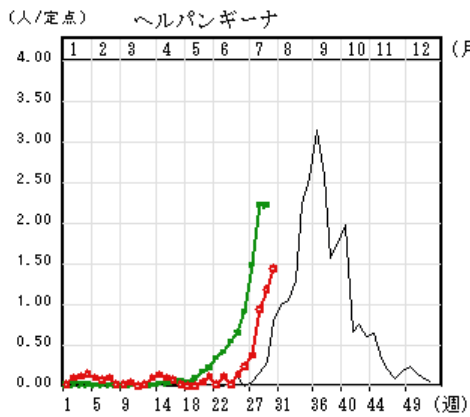
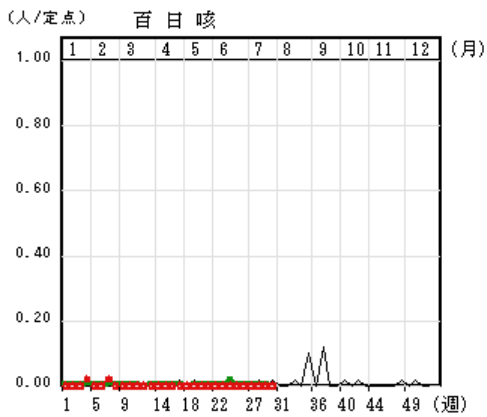
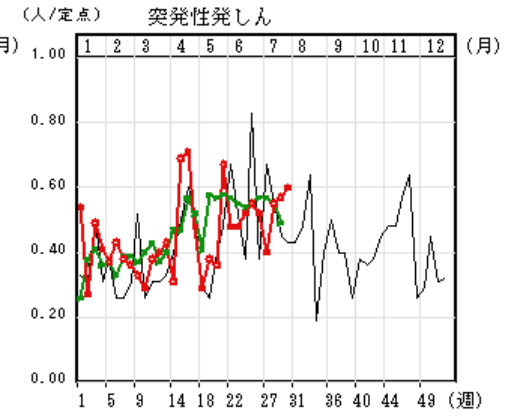
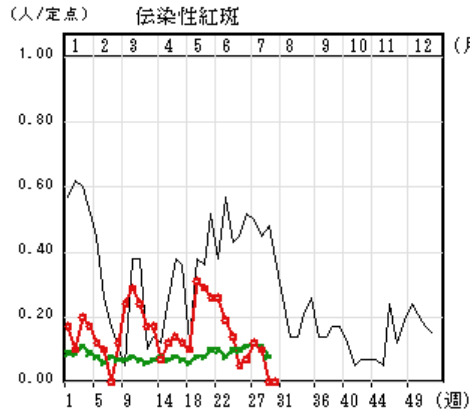
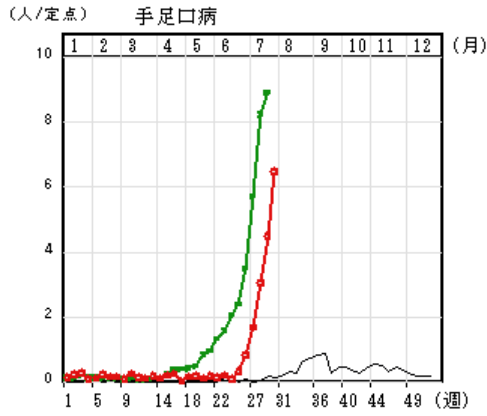
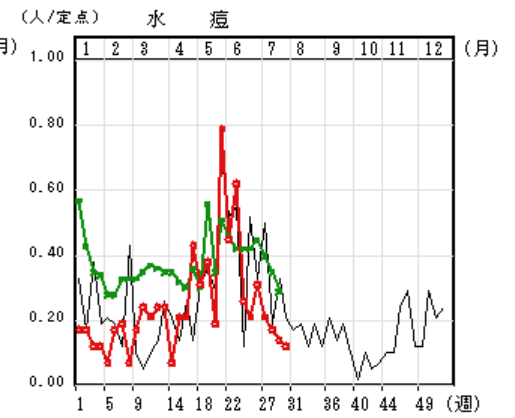
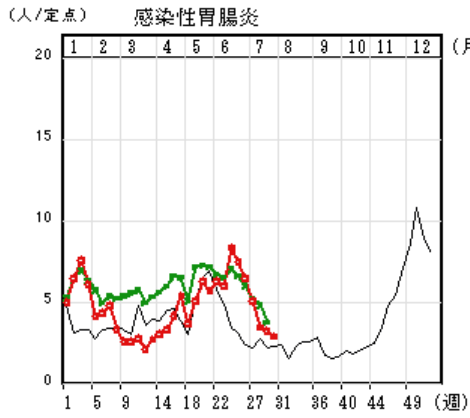
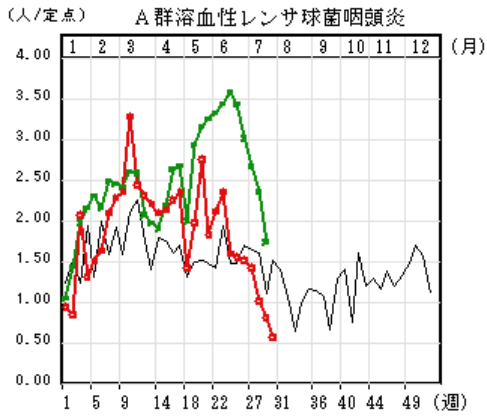
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	174	16	5	2	9	6	3	11	1	2

分類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	5	8	1	44

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第30週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第30週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国

